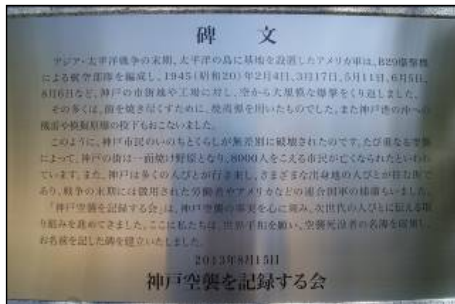


1 神戸空襲を忘れない いのちと平和の碑



基本情報

所 在：大倉山公園
住 所：兵庫県神戸市中央区楠町7
(市営地下鉄 大倉山駅 徒歩2分)
建 立 者：神戸空襲を記録する会
建 立 年：平成25年8月15日
連 絡 先：神戸空襲を記録する会 個人宅のため記載せず

碑 文

【表】

神戸空襲を忘れない

いのちと平和の碑

碑 文

アジア・太平洋戦争の末期、太平洋の島に基地を設置したアメリカ軍は B29 爆撃機による航空部隊を編成し、1945（昭和 20）年 2 月 4 日、3 月 17 日、5 月 11 日、6 月 5 日、8 月 6 日など、神戸の市街地や工場に対し、空から大規模な爆撃をくり返しました。

その多くは、街を焼き尽くすために、焼夷弾を用いたものでした。また神戸港の沖への機雷や模擬原爆の投下もおこなわれました。

このように、神戸市民のいのちとくらしが無差別に破壊されたのです。たび重なる空襲によって、神戸の街は一面焼け野原となり、8000 人をこえる市民が亡くなられたといわれています。また、神戸は多くの人びとが行き来し、さまざまな出身地の人びとが住む街であり、戦争の末期には徴用された労働者やアメリカなどの連合国軍の捕虜もいました。

「神戸空襲を記録する会」は、神戸空襲の事実を心に刻み、次世代の人びとに伝える取り組みを進めてきました。ここに私たちは、世界平和を願い、空襲死没者の名簿を収集し、お名前を記した碑を建立いたしました。

2013 年 8 月 15 日
神戸空襲を記録する会

【裏】

(故人名)

2 山陽電鉄空襲犠牲者之碑



基本情報

所 在：山陽電気鉄道 西新町倉庫正門 右脇
 住 所：兵庫県明石市硯町2-5-49
 (山陽電鉄 西新町駅 徒歩3分)
 建 立 者：山陽電気鉄道株式会社、山陽電気鉄道労働組合
 建 立 年：昭和53年8月15日
 連 絡 先：山陽電気鉄道株式会社 総務本部 078-612-2032

碑 文

【表】

空爆犠牲者之碑

(故人名)

由 来

空爆犠牲者に捧げる

一九四五年六月九日九時五十四分、米軍B29爆撃機が明石市上空に来襲 市街に猛爆撃を浴びせ、当地一帯は瓦礫の山と化して消滅した。

このとき 明石車両工場では、戦時下の輸送確保の使命をうけ、身を挺して働いていた三十一名の尊い生命が一瞬にして奪われ、悲惨な爆死をとげられた。

時は流れて三十三年、平和な日々を送るなかで戦禍の痕跡もとどめないが、大空に散華した還らぬ御霊を思うと痛恨の極みである。

尊い犠牲となられた御霊のご冥福を心から祈念するとともに、平和を守ることを固く誓い、これを建立する。

一九七八年八月十五日

山陽電気鉄道株式会社

山陽電気鉄道労働組合